

ミュージック・データ・マネージメント・ソフト データマネージャー for LK

操作マニュアル

お買い上げの製品に付属している
取扱説明書もあわせてお読みください。

全体説明	3
データマネージャーとは	3
必要なパソコン環境.....	3
本ソフトウェアのご使用にあたって.....	3
使用準備・起動・終了	4
使用準備	4
ソフトウェアを起動する	4
ソフトウェアを終了する	5
Transfer モード	6
機能概要	6
注意.....	6
画面説明	6
操作方法	7
Preference	10
機能概要	10
画面説明	10
操作方法	11
その他の使用方法	12
USB メモリーを使ってパソコンと楽器のデータをやり取りする	12
注意.....	12
ユーザーデータファイルフォルダ上のファイルを USB メモリーにコピーする	12
パソコン上の任意の場所のファイルをユーザーデータファイルフォルダにコピーする	12
ユーザーデータ一覧	13
エラーメッセージ	14

全体説明

データマネージャーとは

データマネージャー（本書では以降、“本ソフトウェア”と表記します）はパソコン上で主に以下の操作を行うためのアプリケーションソフトです。

- 楽器(*)のユーザーデータをパソコンに保存します。
- パソコンのユーザーデータファイルを楽器に転送します。

※「対応機種」に掲載されているカシオ電子楽器モデル。本書では以降、“楽器”と表記します。最新のサポート情報は、下記のホームページをご覧ください。

<https://casio.jp/support/emi/>

重要!

- **本ソフトウェアをご使用中に、他のアプリケーションソフトを使用したり、パソコンのUSBケーブルやUSBメモリーを抜いたり、パソコンと接続している機器の電源を操作したりしないでください。本ソフトウェアが正常に動作しなくなるばかりではなく、データが壊れたり、楽器やパソコンが故障したりする場合があります。**

必要なパソコン環境

■ 対応OS

対応OSについての最新のサポート情報は、下記のホームページをご覧ください。

<https://casio.jp/support/emi/>

重要!

- **お客様のソフトウェアやハードウェアの環境によっては、上記以外の要因により本ソフトウェアが正常に動作しない場合があります。**

本ソフトウェアのご使用にあたって

- 本ソフトウェアの著作権はカシオ計算機株式会社に帰属します。
- 本ソフトウェアのファイル構成・内容等に修正を加えたものを配布することを禁止します。
- 弊社は、本ソフトウェアに関して一切動作保証をいたしません。また本ソフトウェアの使用により生じた、損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求につきましても、弊社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。
- 本ソフトウェアは無償でご使用いただけます。また、友人等への営利を目的としない再配布は原則として自由です。
- 本ソフトウェアは、弊社サポート対象外とさせていただきます。
- 本ソフトウェアの内容に関しては、将来予告なく変更することがあります。
- 本書に掲載しているイラストは、実際のパソコン画面での表示内容と異なる場合があります。
- GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2.1（以下LGPL）に定められた範囲を除き、弊社の許可なく本ソフトウェアを改変することはできません。
- 本ソフトウェアはLGPL版 Qtライブラリを使用しており、同ライブラリを動的リンクすることによって動作しています。Qtライブラリは <https://www1.qt.io/jp/> から入手することができます。
- LGPL全文につきましては、本ソフトウェアの配布ファイルに同梱されているLGPL.txtをご覧ください。

使用準備・起動・終了

使用準備

Windowsの場合

1. カシオのホームページから本ソフトウェアのファイルをダウンロードして、パソコンに保存します。
2. 保存したファイルを解凍（展開）してください。

パソコン上に“CASIO DataManager for LK”というフォルダが作成されます。

Macの場合

1. カシオのホームページから本ソフトウェアのファイルをダウンロードして、パソコンに保存します。
2. 保存したファイルを開いてください。

“CASIO DataManager for LK”というイメージが作成されます。

“DataManagerLK”をアプリケーションフォルダにコピーしてください。

ソフトウェアを起動する

Windowsの場合

1. 楽器のモードをリズムモードに変更します。

リズムモード以外のモードの場合、データの転送を行えないことがあります。

2. パソコンで他のアプリケーションソフトをお使いの場合には、必ず終了させてください。

本ソフトウェア以外のアプリケーションソフトが起動していると、本ソフトウェアを使用できないことがあります。

3. フォルダ“CASIO DataManager for LK”をダブルクリックします。

4. フォルダ内の“DataManagerLK.exe”をダブルクリックします。

本ソフトウェアが起動します。

Macの場合

1. 楽器のモードをリズムモードに変更します。

リズムモード以外のモードの場合、データの転送を行えないことがあります。

2. パソコンで他のアプリケーションソフトをお使いの場合には、必ず終了させてください。

本ソフトウェア以外のアプリケーションソフトが起動していると、本ソフトウェアを使用できないことがあります。

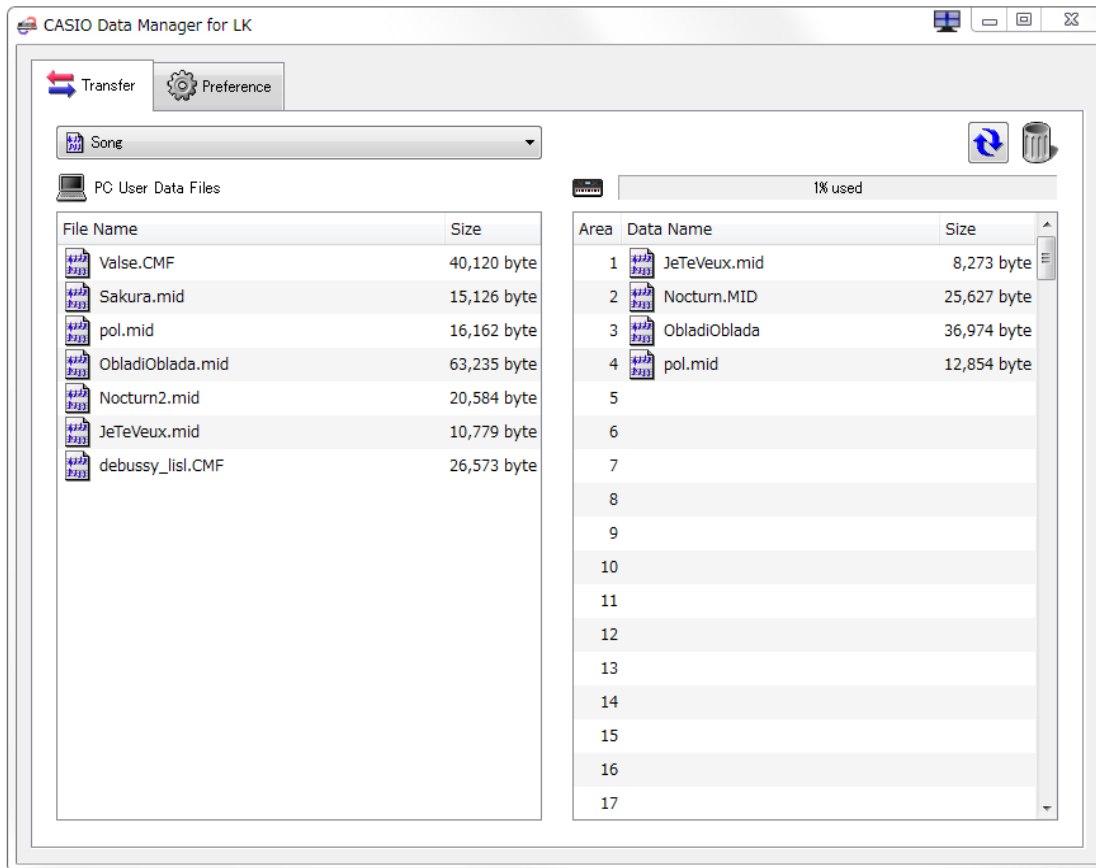
3. アプリケーションフォルダの“DataManagerLK”をダブルクリックします。

本ソフトウェアが起動します。

起動後画面

起動すると下記のような画面が表示されますので、使用するモードのタブをクリックしてください。使用するモードの詳細については、そのモードの章をご覧ください。

- イラストはWindows 7の場合の画面です。



ソフトウェアを終了する

タイトルバー部分にある“×”ボタンをクリックしてください。

- 転送などの処理中に本ソフトウェアを終了しようとする、終了しても良いか確認する画面が表示されます。“Yes”ボタンをクリックすると処理が途中でキャンセルされ、本ソフトウェアが終了します。処理をキャンセルした場合の影響については、どの処理をキャンセルしたかによって大きく変わりますので、各モードの説明をご覧ください。

Transferモード

機能概要

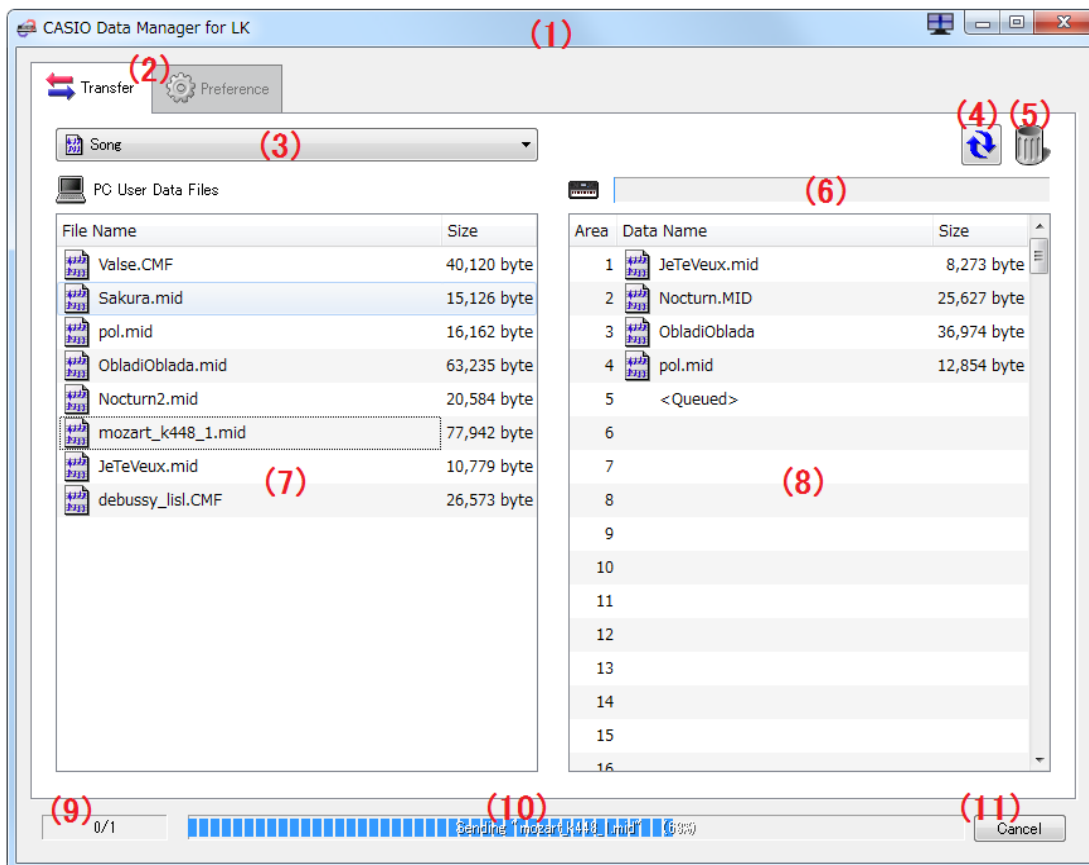
- 楽器で作成したユーザーデータをパソコンに保存します。
- パソコンに保存してあるユーザーデータファイルを楽器に転送します。

注意

- 本モードの機能を使用するためには、楽器とのUSB接続が必要です。
- 楽器とパソコンの接続方法については、楽器の取扱説明書を参照してください。
- 2台以上の楽器をパソコンに接続した場合、本ソフトウェアが正しく動作しない場合があります。
- 本モードで楽器とデータ転送を行っている間は、楽器の操作を行わないでください。本ソフトウェアや楽器の動作が不正になったり、楽器のデータを破壊したりしてしまう可能性があります。

画面説明

- イラストはWindows 7の場合の画面です。



(1) タイトルバー

端の“×”ボタンをクリックすると、本ソフトウェアが終了します。楽器とパソコンが接続されていない場合、ここに“<Disconnected>”と表示されます。その場合は、楽器が正しく接続されていることを確認してリロードボタンを押してください。

(2) モード選択タブ

使用するモードを切り替える場合は、ここから対応するタブを選択します。切り替え先のモードの詳細については、そのモードの章をご覧ください。

(3) データ種類選択ボックス

本モードでの操作の対象とするデータの種類を選択します。ここで選択したデータの種類に応じて、“(7)パソコンファイルリスト”や“(8)楽器データリスト”に表示されるファイルおよびデータが変わります。選択できるデータの種類は、お使いの楽器によって異なります。詳しくは13ページをご覧ください。

(4) リロードボタン

“(7)パソコンファイルリスト”および“(8)楽器データリスト”の表示を最新の内容に更新します。本モードを使用中に楽器を操作してユーザーデータを変更したり、パソコン側のユーザーデータファイルフォルダ（10 ページ）を本ソフトウェア以外から操作したりした場合、本ソフトウェア上の表示は自動的に更新されません。そのような操作を行った場合は、このボタンをクリックして表示を更新してください。

(5) ゴミ箱

楽器のデータやパソコンのファイルの削除を行います。“(3)データ種類選択ボックス”で選択しているデータ種類によっては、削除できない場合があります。

(6) メモリー使用量表示バー

楽器における現在のメモリー使用量を表示します。“(3)データ種類選択ボックス”で選択しているデータ種類によっては、表示されない場合があります。100%を超えてメモリーを使用することはできません。

(7) パソコンファイルリスト

パソコンのユーザーデータファイルフォルダ（10 ページ）内に保存されているファイルの一覧を表示します。

(8) 楽器データリスト

楽器に保存されているユーザーデータの一覧を表示します。

(9) 全体進捗表示バー

現在、いくつの処理が予約・実行されているかを表示します。処理の実行中のみ表示されます。

(10) 個別進捗表示バー

現在の処理の進捗状況を表示します。処理の実行中のみ表示されます。

(11) キャンセルボタン

転送をキャンセルします。処理の実行中のみ表示されます。

操作方法

楽器からパソコンに転送する

1. “(3)データ種類選択ボックス”で、パソコンに転送したいデータ種類を選択します。
2. “(8)楽器データリスト”に表示されたデータから、パソコンに転送したいデータを決めておきます。
3. “(8)楽器データリスト”から“(7)パソコンファイルリスト”に、そのデータをドラッグアンドドロップ(※1)します。

転送処理が予約され、順番に実行されます。処理が1つ終了するたびに、“(7)パソコンファイルリスト”に保存されたファイルが表示されます。

注意

- “(7)パソコンファイルリスト”に表示されるファイルのサイズは、元となった“(8)楽器データリスト”上のデータのサイズとは異なる場合があります。

※1 ドラッグアンドドロップとは、ファイルやデータを移動させる場合に行うマウス操作を指します。移動したいファイルやデータのアイコンの上にマウスカーソルが重なっている状態でマウスボタンを押し、押したままの状態でもマウスカーソルを移動先まで動かし、マウスのボタンを離してください。

パソコンから楽器に転送する

1. “(3)データ種類選択ボックス”で、パソコンに転送したいデータ種類を選択します。
2. “(7)パソコンファイルリスト”に表示されたファイルから、楽器に転送したいファイルを決めておきます。
3. “(8)楽器データリスト”から、どのエリアに転送したいかを決めておきます。
4. “(7)パソコンファイルリスト”からそのファイルを“(8)楽器データリスト”のエリアにドラッグアンドドロップします。

転送処理が予約され、順番に実行されます。処理が1つ終了するたびに、“(8)楽器データリスト”に転送されたデータが表示されません。転送先エリアに既にデータが存在する場合は、転送処理の実行直前に上書きしても良いか確認する画面が表示されます。データを上書きすると、これまで存在していたデータは失われますのでご注意ください。上書きして良ければ、“Yes”ボタンをクリックしてください。

注意

- “(8)楽器データリスト”に表示されるデータのサイズは、元となった“(7)パソコンファイルリスト”上のファイルのサイズとは異なる場合があります。

楽器からユーザーデータを消去する

1. “(3)データ種類選択ボックス”で、楽器から消去したいデータ種類を選択します。
2. “(8)楽器データリスト”に表示されたデータから、消去したいデータを決めておきます。
3. “(8)楽器データリスト”から“(5)ゴミ箱”に、そのデータをドラッグアンドドロップします。

消去処理が予約され、順番に実行されます。処理が1つ終了するたびに、“(8)楽器データリスト”に消去の結果が反映されます。

パソコンからユーザーデータファイルを削除する

1. “(3)データ種類選択ボックス”で、パソコンから削除したいデータ種類を選択します。
2. “(7)パソコンファイルリスト”に表示されたファイルから、削除したいファイルを決めておきます。
3. “(7)パソコンファイルリスト”から“(5)ゴミ箱”に、そのファイルをドラッグアンドドロップします。

お使いのシステムのゴミ箱に捨てる時と同じ動作をします。

パソコン上のユーザーデータファイルの名前を変更する

1. “(7)パソコンファイルリスト”に表示されたファイルのうち、名前を変更したいファイルを1つ選び、それをダブルクリックします。
2. ファイル名を入力できる状態になりますので、新しいファイル名を入力します。
3. 入力終了後、エンターキーを押します。

注意

- ここで変更した名前は、楽器で表示される名前には反映されません。楽器で表示される名前の変更は、本ソフトウェアでは対応しておりませんので、楽器上の名前変更機能をお使いください。楽器上の名前変更機能の操作方法は、楽器の取扱説明書をご覧ください。

転送・消去をキャンセルする

転送または楽器のデータ消去を実行している最中に表示される“(11)キャンセルボタン”をクリックすると、確認画面が表示されますので、“Yes”ボタンをクリックします。

現在実行中の処理がキャンセルされ、予約が全て破棄されます。

注意

- 既に終了した処理はキャンセルできません。
- データの種類によってはデータの転送・消去の処理をキャンセルできないことがあります。キャンセルできない処理中は、“(11)キャンセルボタン”の操作が無効になります。

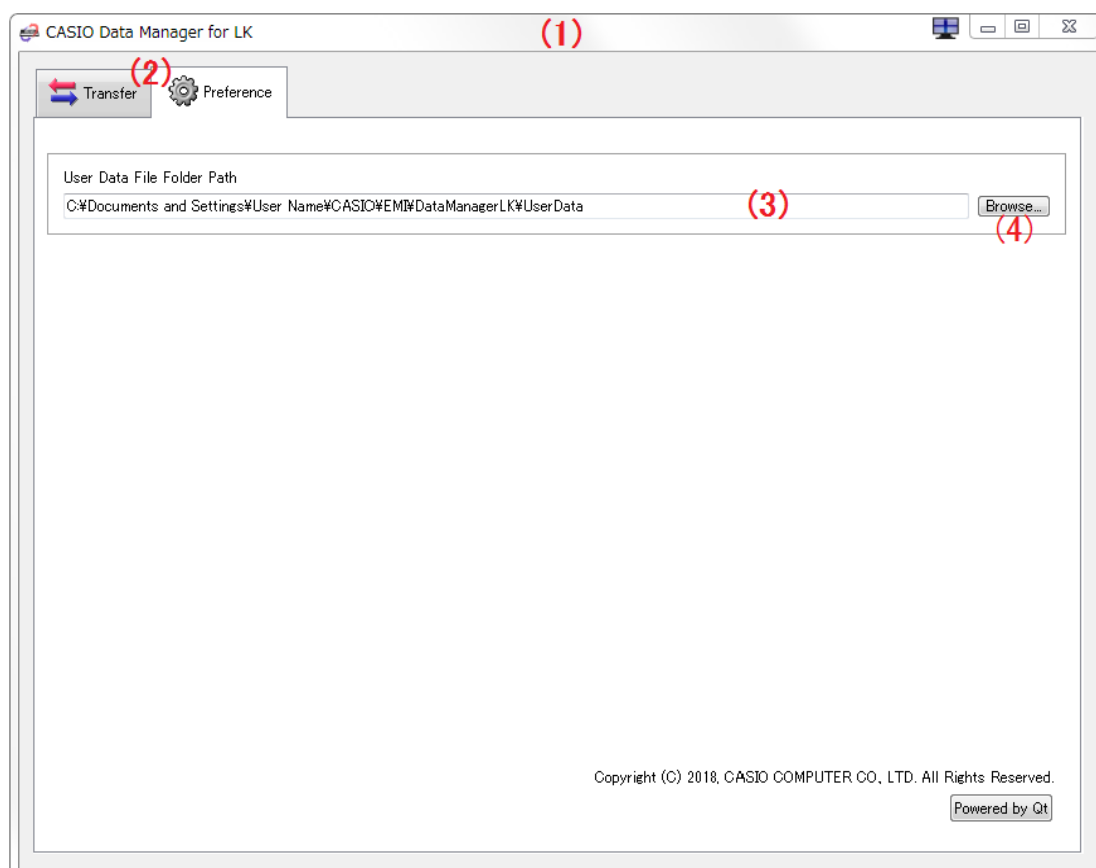
Preference

機能概要

本ソフトウェアで取り扱うファイルの保存フォルダを確認、設定します。

画面説明

- イラストはWindows 7の場合の画面です。



(1) タイトルバー

端の“×”ボタンをクリックすると、本ソフトウェアが終了します。楽器とパソコンが接続されていない場合、ここに“<Disconnected>”と表示されます。

(2) モード選択タブ

使用するモードを切り替える場合は、ここから対応するタブを選択します。切り替え先のモードの詳細については、そのモードの章をご覧ください。

(3) ユーザーデータファイルフォルダパス表示

ユーザーデータファイルの保存先として指定されているパスを表示します。このフォルダに入っているファイルが、Transferモードのパソコンファイルリストに表示されます。

(4) ユーザーデータファイルフォルダパス選択ボタン

ユーザーデータファイルの保存先を指定するための画面を開きます。

ユーザーデータファイルの保存先フォルダを設定する

1. “(4)ユーザーデータファイルフォルダパス選択ボタン”をクリックします。
2. フォルダ選択画面が開きますので、保存先とするフォルダを指定します。

その他の使用方法

USBメモリーを使ってパソコンと楽器のデータをやり取りする

楽器でUSBメモリーに保存したユーザーデータファイルは、それらをユーザーデータファイルフォルダ（10 ページ）にコピーすることにより、そのまま本ソフトウェアでお使いいただけます。また、本ソフトウェアで楽器からパソコンに保存したユーザーデータファイルは、それらをUSBメモリーにコピーしてから楽器のUSBメモリー端子に装着することにより、そのまま楽器でお使いいただけます。

注意

- USBメモリーは、あらかじめ楽器でフォーマットしたものを使用してください。楽器でフォーマットができない場合は、パソコンで楽器に対応したフォーマットに変更する、もしくは、別のUSBメモリーをご使用ください。
- USBメモリー内のユーザーデータファイルの名前が、拡張子を除いて8文字を超える場合、楽器では元とは異なるファイル名で表示されます。8文字以下のファイル名に変更してから使用してください。
- 楽器では、下記の文字以外の文字を含むファイル名は、正しく表示できません。下記の文字のみを使ったファイル名に変更してから使用してください。

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T
U	V	W	X	Y	Z	\$	&	_	'
()	-	^	{	}	@	~	`	

- アルファベット小文字を使用することもできますが、大文字と小文字は同じ文字として見なされます。

ユーザーデータファイルフォルダ上のファイルをUSBメモリーにコピーする

各モードのパソコンファイルリストに表示されたファイルは、本ソフトウェアの画面外部に対してドラッグアンドドロップすることができます。USBメモリーの“MUSICDAT”フォルダに、コピーしたいファイルをパソコンファイルリストからドラッグアンドドロップすると、USBメモリーにコピーされます。

パソコン上の任意の場所のファイルをユーザーデータファイルフォルダにコピーする




本ソフトウェアの画面外部から各モードのパソコンファイルリストにファイルをドラッグアンドドロップすることができます。楽器でUSBメモリーに保存したユーザーデータファイルを本ソフトウェアのユーザーデータファイルフォルダ（10 ページ）にコピーしたい場合は、USBメモリーの“MUSICDAT”フォルダを開き、コピーしたいファイルを本ソフトウェアのパソコンファイルリストにドラッグアンドドロップしてください。

- 本ソフトウェアで使用できない拡張子のファイルはコピーすることができません。

ユーザーデータ一覧

モデル名が異なる楽器間では互換性が無い場合があります。詳しい情報は、下記のホームページをご覧ください。

<https://casio.jp/support/emi/>

	アイコン	ファイル拡張子	データの種類	備考
Song		.CMF、.MID、 .CM2	ソング	—
Lesson Rec Song		.LRF	ソング	—
Multi Track Rec Song		.MRF	ソング	—

エラーメッセージ

操作の方法や楽器の状態、本ソフトウェアの使用環境などにより、使用中にエラーが表示されることがあります。表示されたエラーメッセージに応じて、下記の対策を行ってください。

メッセージ	原因	対策
Already Running	既に本ソフトウェアが実行中です。	既に実行中の本ソフトウェアを使用してください。
Communication Error	楽器との通信中にエラーが発生しました。	<ul style="list-style-type: none"> • パソコンと楽器が正しく接続されているか確認してください。 • 他のアプリケーションを使用している場合は、そのアプリケーションを終了してください。 • 楽器のモードをリズムモードにしてください。 • パソコンと接続する楽器の数は、1台までにしてください。 • 通信中に楽器の操作を行わないようにしてください。 • USBハブや延長ケーブルを使用している場合、直接つなぎ直してください。 • 複数のデータを一度に楽器へ転送しようとしている場合は、楽器データリストをスクロールして、全ての転送先エリアの<Loading>表示が消えていることを確認してから再度転送を行なってください。 • 上記の対策で解決しない場合は、楽器の電源を入れなおしたり、本ソフトウェアを再起動したりしてください。
File Read Error	ファイルやフォルダの読み込み中にエラーが発生しました。	<ul style="list-style-type: none"> • 読み込みを行おうとしたファイルやフォルダが存在しているか確認してください。 • 読み込みを行おうとしたファイルやフォルダが読み込み可能かどうか確認してください。 • そのファイルが他のアプリケーションから使用されていないか確認してください。 • ユーザーデータファイルフォルダのパスに特殊な文字が含まれていないか確認してください。 • 特殊な文字が含まれている場合、パス名が全て半角英数字で構成された場所をユーザーデータファイルフォルダとして指定してください。
File Write Error	ファイルやフォルダの作成、書き込み中にエラーが発生しました。	<ul style="list-style-type: none"> • ファイルを作成しようとした場所が存在するか確認してください。 • 書き込みを行おうとしたファイルが存在するか確認してください。 • 書き込みを行おうとしたファイルが書き込み可能かどうか確認してください。 • そのファイルが他のアプリケーションから使用されていないか確認してください。 • パソコンやUSBメモリの残り記録容量が十分にあるか確認してください。 • ユーザーデータファイルフォルダのパスに特殊な文字が含まれていないか確認してください。 • 特殊な文字が含まれている場合、パス名が全て半角英数字で構成された場所をユーザーデータファイルフォルダとして指定してください。

メッセージ	原因	対策
File Format Error	ファイルの形式が本ソフトウェアで非対応です。	そのファイルは本ソフトウェアでは使用できませんので、別のファイルを使用してください。
	ファイルが壊れています。	そのファイルは本ソフトウェアでは使用できませんので、同じデータが楽器に残ってしましたら、そちらを保存して使用してください。
	そのファイルは送信先の楽器と互換性がありません。	送信先の楽器に対応したファイルを使用してください。送信先の楽器と異なるモデルで作成されたファイルは、同じ拡張子であっても互換性が無い場合があります。詳しい情報は、下記のホームページをご覧ください。 https://casio.jp/support/emi/
File Too Large	楽器で使用可能な最大サイズを超えるユーザーデータファイルを楽器に転送しようとした。	そのファイルはこの楽器では使用できませんので、別のファイルを使用してください。
Memory Full	ユーザーデータのメモリーがいっぱいです。	不要なデータを楽器から消去し、メモリーの空き容量を増やしてください。
Keyboard Data Is Different	楽器上のデータの状態が、表示と異なっている可能性があります。	リロードボタンをクリックし、表示を最新の状態に更新してください。

CASIO®

カシオ計算機株式会社
〒151-8543 東京都渋谷区本町1-6-2

MA1808-B

© 2018 CASIO COMPUTER CO., LTD.